三重大学

学生と住民が共に創る町屋の未来



三重大学医学部附属病院
総合診療部　教授
山本　憲彦

三重大学

全体概要

町屋地域ですでに行われている地域活動に参加
あるいは新たな地域活動を企画することで
学生が地域住民と**共**に未来の町屋地域を**創**生する

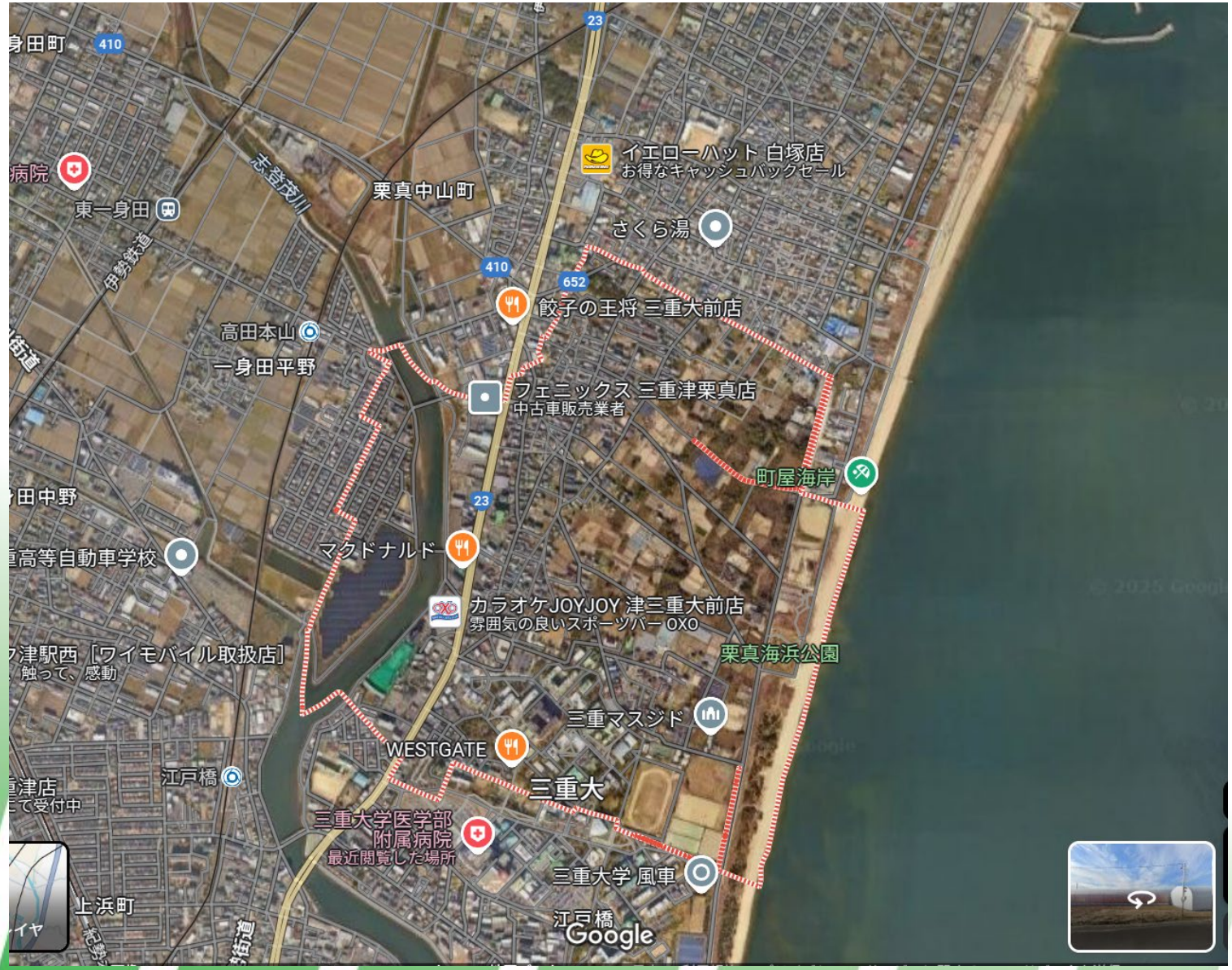




三重大学

栗真町屋町について

三重大学



Google Map

三重大学

住民基本台帳による栗真町屋町の人口推移



70歳以上
2010:11.9%
2015:14%
2020:15.8%

三重大学

背景

栗真町屋町の住人の声

・**過疎化・高齢化**が進んでおり、担い手不足の為、地域行事の維持困難

・独居の方も多く**孤独化**が問題である

・近くにありながら**三重大学との交流がすくない**

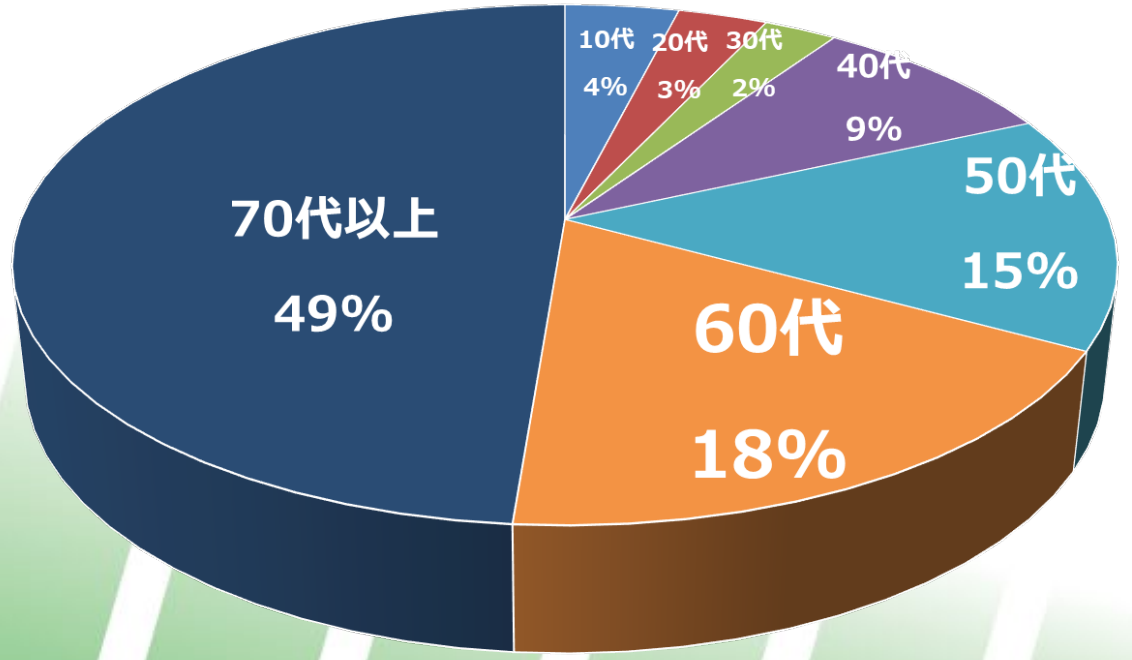
・休耕田や空き家が多い

三重大学

まず住民の方のニーズを明らかにする!!
ためにアンケート実施

回答者数　356名

連合自治会の方に御協力頂き、
1000枚のアンケートを
回覧板を使用し実施しました



三重大学

学生の地域活動におけるメリット　先行研究より

地域の再認識



つながりのハブ



活力を与える



「よそもの・わかもの・ばかもの」

三重大学

プロジェクトチーム

	氏名	職名	部局名
1	山本　憲彦	教授	医学部附属病院総合診療部
2	松岡　知津子	准教授	国際戦略機構
3	正路　真一	講師	国際戦略機構
4	森　浩平	准教授	三重大学教育学部特別支援教育講座

学部・研究科	内訳	
	学部生	大学院生
人文学部・人文社会科学研究科	5 名 備考：	名 備考：
教育学部・教育学研究科	5 名 備考：	名 備考：
医学部・医学系研究科	5 名 備考：	名 備考：
工学部・工学研究科	5 名 備考：	名 備考：
生物資源学部・生物資源学研究科	5 名 備考：	名 備考：

三重大学

地域活動のテーマ

学生と地域住民、地域住民同士が交流する機会の創出

伝統行事の存続に向けた参画

三重大学

これまでに実施した活動

・栗真町屋町「**巨大龍踊り**」保存会への参加

・津祭りへの「**町屋巨大龍**」参加

・町屋住民との芋植え、芋ほり、芋パーティーの開催

・定期的な地域活動

・栗真小学校かがやきフェスタへのブース出展

三重大学

龍踊り保存会への参画

栗真町屋町(くりまちやちょう)の千王神社(せんのうじんじゃ)の祭礼で行われる、日本一の
長さを誇る巨大な龍の山車(だし)を使った
伝統行事・地域活性化イベント

後継者不足で祭り存続の危機!!

⇩

三重大学生が地域の方と共に龍踊り存続を!!



中日新聞

愛知で震度５強 備え再点検を

トップ | 愛知 | 岐阜 | 三重 | 特集・連載 | 紙面を見る | 投稿 | プレゼント

〉三重

踊る巨大竜、これからも眠らせない　祭り終了一転、津市で4日開催

2026年7月1日 05時05分 (7月1日 15時56分更新)

全長55メートルの竜を担いで練り歩く、津市栗真町屋町の祭り「巨大龍（りゅう）踊り」が4日に催される。今年から三重大生が主力になり、地元有志と保存会を結成。存続の危機を乗り越え、若者のアイデアを生かして準備に熱を入れている。（丹羽ありさ）

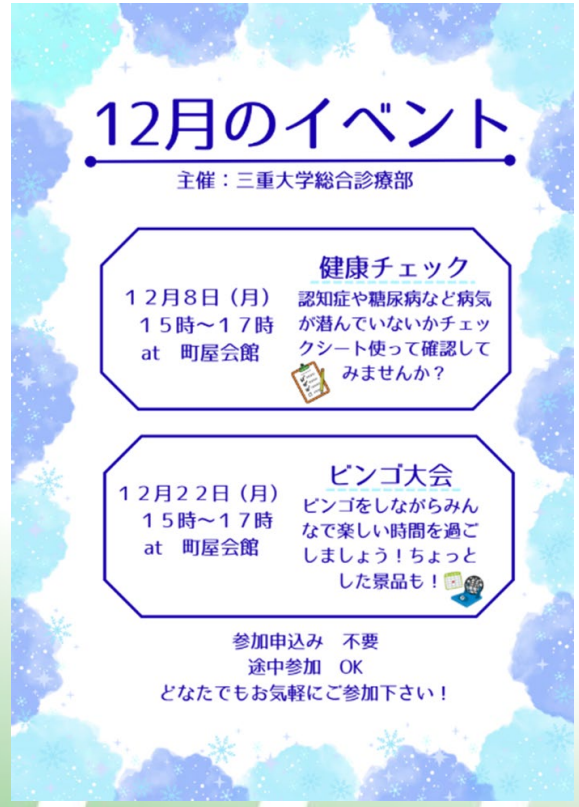
巨大な竜の山車を修復する保存会の三重大生ら＝津市栗真町屋町の千王神社で

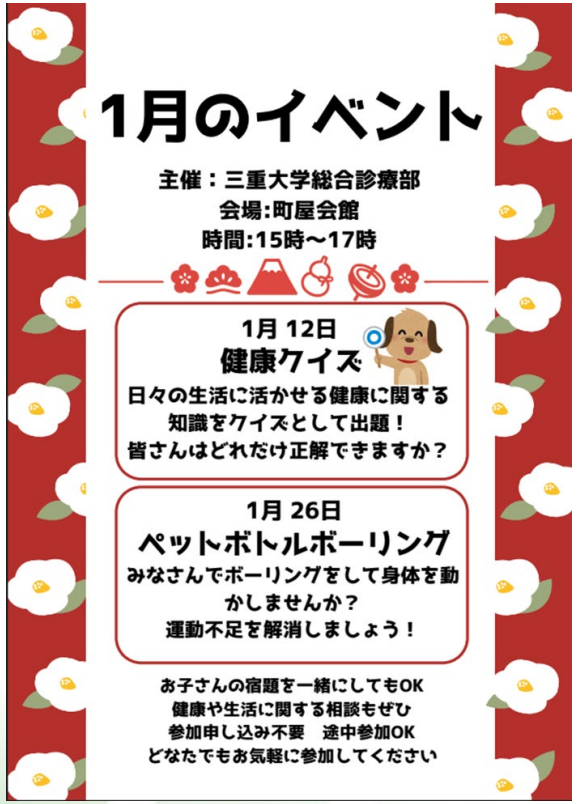
巨大龍踊りは、1996年に地元のまちおこし団体「町屋百人衆」が始めた。町内にある千王神社の雨乞い伝説から竜神を模した山車を考案。当日は三重大生も担ぎ手を務めてきた。…

これまで行った地域活動

三重大学









現在も月2回公民館での活動を続けています!!

三重大学

医学部

教育学部

国際戦略機構

町屋連合自治会

龍踊り保存会

三重大学学生・留学生

学部を超えた学生同士のつながり
共に町屋を盛り上げる!!
人文学部・教育学部・医学部・工学部・生物資源学部


三重総診
本活動のさらなる発展に御理解、御支援をよろしくお願い致します
患者まるごと
人生まるごと
地域まるごと